

日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

身近に眼差しを向け、“文理融合”の世界に遊んだ人物
(Part I 科学・技術分野)

寺田寅彦の挫折と誇り

-寺田物理学から学ぶもの-

講師：池内 了 先生

【講演要旨】

寺田寅彦が亡くなって今年でちょうど80年になる。彼の人気は衰えないが、彼がノーベル賞寸前までいっていたがブラッグ父子との競争に負けて一種の挫折を味わったこと、それ以後は科学の見方を変えて「風土の科学」（今日で言う「複雑系の科学」）に傾注するようになったこと、同時に世界一流であることを意識した誇りも併せて持って研究を続けたこと、などを語りたい。それが彼の文理融合的発想の根源であり、それから学ぶべきことが多くあると考えるためである。

【講師略歴】

1944年生まれ。総合研究大学院大学名誉教授。専攻は宇宙物理学、科学・技術・社会論。主著に『科学と人間の不協和音』（角川 one テーマ21）、『科学の限界』（ちくま新書）、『現代科学の歩き方』（河出書房新社）があり、近刊として『科学・技術と現代の社会 上・下』（みすず書房）などがある。

日時：2015年5月12日（火）18:00～20:30

会場：公益財団法人国際高等研究所

参加費：2,000円（交流・懇談会費用を含む）

定員：40名（申し込みが定員を超えた場合は抽選）

申込：「参加申込書」（裏面）によりお願いいたします

詳細：<http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

4月30日(木)

必着

第22回

満月の夜開く
けいはんな哲学カフェ

ゲーテの会



公益財団法人
国際高等研究所
International Institute for Advanced Studies

ゲーテの会とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9 丁目 3 番地

公益財団法人国際高等研究所 事業部

けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第 22 回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2015 年 5 月 12 日 (火) 開催		
お名前		
ご所属		
部 署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

